

荻川小学校

<u>コミュニティ・スクールだより No.2</u>

第2回学校運営協議会を開催しました

9月21日(水)に第2回学校運営協議会を行いました。5校時には、委員の方から授業を参観いただきました。子どもたちの真剣に話を聞く態度や楽しそうに作品づくりに取り組む様子をご覧いただきました。その後、校長室において、下記の内容で協議を行いました。

【協議内容】

- 1 前期学校評価及び後期に向けた取組説明
- 2 次年度の学校運営への意見要
- 3 教職員の任用についての意見
- 4 全体を通して質疑応答









前期学校評価及び後期に向けた取組についての協議内容は次のようなものでした。

<授業づくりについて>

- ○児童の実態を踏まえた授業づくりは基本の基です。それをやりながら対話的な学びを目指していることが,参観と資料の数値からよく伝わってきました。RPDCAサイクルによる授業改善の実践とあるが,R(リサーチ=児童の実態把握)を大事にしていることがよく分かりました。
- ○先生方の授業1つ1つがどれもよかったです。仲間と話し合う、タブレットで調べるなど、自分たちの時と違うことがよく分かりました。
- ○子どもたちが授業で騒がず、また、下を見ていないです。みんなが友達や先生の話や黒板に書かれることに興味をもっていました。子どもと教師が一体になって学習を進めていることがよく分かりました。
- ○タブレットは便利で,必要不可欠だが,漢字の書き方を忘れてしまうのではないかと 気になりました。
 - 学校では,漢字ドリルによる学習など,書いて練習する取組を行い,タブレットのみにならないようにして,定着を図っています。
- ○もっとタブレットを活用した授業を展開することができるのでは、と感じました。



<自立を促す生徒指導の推進について>

○縦割り班活動は当番活動にも受け取れます。ピアサポートの割合をもっと増やしても よいのではないですか。

学校では、ピアサポートの考えを縦割り班活動に取り入れて行っています。例えば、縦割り班清掃では、机を運ぶときに、6年生が一緒に運びながら低学年に教える、つばさっ子集会の準備で優しく教えてあげるなどです。縦割り班活動の中で、このようなピアサポートの考えを取り入れた関わりを通して、在校生が 6 年生との思い出をたくさんつくり、感謝の思いを抱いていけるように活動を行っています。昨年度は、6年生が2年生に九九を教えに行くという活動もありました。このような思いを膨らませるために、活動後の振り返りを大切にしています。

- ○「認められている」という気持ちを高めるうえで,子どもの提出物に教師が励ましのコメントを入れるのは,とてもよいと思います。これからも続けてほしいです。
- ○新津第二中学校の陸上部の生徒が陸上練習に来てくれていると聞きました。このよう な活動もとてもいい取り組みだと思うので、今後も続けてほしいです。
 →

<特別支援教育の推進について>

特別支援学級児童への理解を求める「理解教育」の学級・学年での実施により、子どもたちの特別支援学級の子どもたちへの理解が深まり、子ども同士でのトラブルも減ってきています。また、子どもの実態を把握し、必要に応じて面談や職員同士での情報共有を丁寧に行い、指導、支援につなげています。更には、教職員の特別支援教育への理解を深めるために、指導主事を招き、職員の対応方法や支援の方向性についての研修を行いました。これらにより特別支援教育への子どもたちの理解、また、教職員の指導・支援の質的向上が図られていること等について話し合い、推進についての支持をいただきました。

委員の方々との話し合いを通して、これまでの取組が子どもたちの実態に即し、子どもたちの成長につながっていることを再確認できました。いただいたご意見を生かし、後期の教育活動をより一層充実させていきます。また、今年度から実施するふれあいスクールについて話題が出ました。こちらも肯定的な評価をいただき、開始に向けて応援をいただきました。

地域との関わりや地域を学ぶ時間が増えるとよいというご意見も頂戴しました。現在,中,高学年が総合的な学習の時間などを通して,地域の方から学ぶ機会,地域を学ぶ機会を設けています。その活動を継続しながら,地域の方々と関わりながら学ぶ機会の充実に努めていきます。

最後に、校長からは、「今年度もコロナ禍での教育活動となっていますが、昨年度より も保護者の皆様から実際の子どもたちの様子を見てもらう機会を作ることができてい ます。また、荻小応援団の方々から活動していただく機会が増えてきていて感謝です。」 と学校の様子をも含めて話がありました。

この学校運営協議会を,目指す学校像や子ども像について語り合う機会にしていくこと,今後もできることは行い,「子どもたちの学びを止めない」学校にしていくことを,改めて確認することができました。